

福島県男女共生センター事業実施状況

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

福島県男女共生センターでは、本県の男女共同参画をめざす拠点施設として広く県民に利用されるよう機能の充実に努めるとともに、男女共同参画に関する様々な情報を発信する情報事業、男女の自立と社会参加を促進するための自立促進事業、自主的な交流を支援する交流関連事業などを実施した。

1 管理運営事業

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、センターの3つの機能（情報機能、自立促進機能、交流機能）を十分発揮できるよう、効果的・効率的な施設の管理・運営に努めたほか、原子力災害により避難された方に対し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における絆を深める活動を支援するため、宿泊料助成を実施するなど、東日本大震災の被災地・被災者の支援に取り組んだ。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、絵本コーナーなど親子で利用できるスペースを設けているほか、研修室や宿泊室等施設設備の一部改修等の環境整備を行い、利用促進に努めた。

※平成28年度 施設利用状況 別紙のとおり

2 情報関連事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、男女が新しいパートナーシップを確立するための自己啓発及び活動等を支援した。

また、情報ネットワークの充実に努めるとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県外の避難者へも広報紙が閲覧できるようにしたほか、広く情報を発信した。

(1) 情報事業

ア 図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約4万点を備え、閲覧及び貸出により利用に供した。

内 容	・購入図書・資料の選定 平成28年度購入図書 252冊、DVD 6点 ・図書・資料の収集、分類、整理 図書貸出利用者数 延べ 2,061人 図書貸出冊数 延べ 5,131冊 ・レファレンスサービス 延べ 1,268件
-----	---

イ 情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン(月1回発行)により提供した。

内 容	・図書室内情報コーナーインターネット利用者数 延べ 453人 ・センターホームページアクセス件数 延べ 183,447件
-----	---

	・センターメールマガジン配信件数（月1回） 890件 （29年3月末現在）
--	--

ウ 広報活動

男女共同参画の考え方や、センターの活動内容について、広報誌「未来館 NEWS」を発行し紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図った。

内 容	広報誌「未来館 NEWS」第59号～62号発行 各7,000部 県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設及び被災者支援団体などに送付
-----	--

(2) 調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究を行った。

ア 地域課題調査・研究事業

県内の男女共同参画を推進するために重要な地域の課題やその解決方法についての調査・研究を公募したが採択研究はなかった。

イ 自主研究

センター事業を進める際の基礎資料となるデータを収集するための調査を行った。

内 容	(1)「企業における男女共同参画に関する調査」 ※企業研修と共同で実施 県内企業における男女共同参画及び仕事と生活の調和に係る取組状況について調査を行い、報告書を作成した。 (2)「福島県男女共生センター主催人材育成関連講座受講生の追跡調査」 当センター主催人材育成関連講座の受講生を対象に受講後の活動（生活や仕事も含む）への変化について追跡調査を行い、報告書を作成した。
-----	--

3 自立促進事業

(1) 普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら、男女が互いに個人として自立し、責任を担う力をつけて共に社会参画できるよう支援した。

事業名	男女共生地域連携意見交換会
対象者	自治体・企業の女性活躍促進担当者
内 容	男女共同参画社会の実現に向け、県民の意識の醸成や地域特有の課題等解決の糸口を探るため、企業の担当者と館長とが、意見交換を行った。 (1) 未来館トークサロン in 郡山 開催日：平成28年11月9日（水） 会 場：郡山市総合福祉センター

	<p>内 容：企業における女性の活躍促進や男性の働き方の見直しなどをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合った。</p> <p>参加者：8名 共 催：郡山市</p> <p>(2) 未来館トークサロン in いわき 開催日：平成29年2月1日（水） 会 場：いわき産業創造館 内 容：企業における女性の活躍促進や男性の働き方の見直しなどをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合った。</p> <p>参加者：7名 共 催：いわき市</p>
--	---

事業名	復興・防災と男女共同参画
対象者	行政職員、地域防災グループメンバー等県民
内 容	<p>復興・防災活動に男女共同参画の視点が重要であることから、地域における被災者支援活動や復興・防災の取組に関わる方たちを対象に、災害・防災と男女共同参画に関する基礎知識習得等の内容の講座を実施した。</p> <p>(1) 平成28年7月20日（水） 会 場：喜多方市役所 講 師：センター職員 内 容：実践事例による、復興・防災と男女共同参画に関する基礎知識を学ぶ講義、グループワーク等 参加者：26名</p> <p>(2) 平成28年9月15日（木） 会 場：会津若松市生涯学習総合センター「會津稽古堂」 講 師：センター職員 内 容：実践事例による、復興・防災と男女共同参画に関する基礎知識を学ぶ講義、グループワーク等 参加者：12名 ※会津若松市主催「きらめき女性塾」への出講</p> <p>(3) 平成28年10月23日（日） 会 場：新地町消防・防災センター 講 師：センター職員 内 容：実践事例による、復興・防災と男女共同参画に関する基礎知識を学ぶ講義、グループワーク等 参加者：28名 ※新地町主催「第15回新地町男女共生のつどい」への出講</p>

事業名	未来館次世代スクールプロジェクト
対象者	県内小学生、中学生、高校生
内 容	<p>県内小・中・高校と連携し、学級担任とセンター職員が一緒になって授業案を練り上げ、互いの性と人権を尊重することの大切さや自分らしさを発揮する大切さを考えるための連携授業を実施した。</p> <p>○連携授業</p> <p>(1) 二本松市立小浜中学校 開催日：平成28年7月8日（金） 参加者：2年生（21名）、保護者（13名）、教職員（3名） 内 容：性別にとらわれない職業選択～講師との交流学习～ 講 師：女性バス運転士、男性保健師</p> <p>(2) 福島県立安達東高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：平成28年7月1日（金） 参加者：2年生（63名）、教職員（3名） 内 容：デートDVの防止について 講 師：センター職員 ・第2回 開催日：平成29年1月13日（金） 参加者：1年生（63名）、教職員（2名） 内容：ジェンダーへの気づきと性別にとらわれない職業選択 講師：センター職員 ・第3回 開催日：平成29年1月20日（金） 参加者：3年生（63名）、教職員（2名） 内容：ハラスメント防止について 講師：センター職員 <p>(3) 三春町立岩江小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：平成28年11月15日（火） 参加者：6年生（22名）、教職員（1名） 内容：～らしさについて考えよう 講師：センター職員 ・第2回 開催日：平成28年11月25日（金） 参加者：6年生（22名）、教職員（8名） 内容：～らしさについて考えよう 講師：センター職員 <p>○出前講座</p>

	<p>ふれあい合宿すぎのめこども宿（福島市杉妻学習センター）</p> <p>開催日：平成28年7月21日（木）</p> <p>参加者：合宿参加者（小学5、6年生22名）</p> <p>内 容：アサーティブなコミュニケーションについて</p> <p>講 師：センター職員</p>
--	--

事業名	ふくしま WLB フォーラム
対象者	県民
内 容	<p>多様な生き方を認め、職場・家庭・地域など様々な場面で豊かな生活を送れるようにするため、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現させている「イクボス」から、実践のためのコツとその具体的な手法を学ぶための講演会等を実施した。</p> <p>開催日：平成28年12月1日（木）</p> <p>講 師：川島 高之氏（NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事、NPO 法人コヂカラ・ニッポン代表、株式会社 K&Partners 代表取締役社長）</p> <p>内 容：「秘訣を伝授！今からできる川島流ワーク・ライフ・バランス実践録」</p> <p>参加者：55名</p>

事業名	女性への暴力防止啓発事業
対象者	県民
内 容	<p>ソーシャルネットワークサービスを通して起こっている性暴力の実態を知ることにより、若年女性への暴力防止の方法と生き方支援を学ぶための講演会を実施した。</p> <p>開催日：平成28年11月12日（土）</p> <p>講 師：橋 ジュン氏（NPO 法人 BOND プロジェクト代表）</p> <p>内 容：「スマホ・SNS と性暴力。女の子たちの生きづらさを、共に考える。」</p> <p>参加者：16名</p>

事業名	未来館シネマ・アート発信事業 ※自主
対象者	県民
内 容	<p>県民に広く訴えるために効果的な視聴覚的手法である映画の上映を通じて「男女共同参画とは何か」を考える場を県民に提供するため、福島こどものみらい映画祭の共催団体及び実行委員として企画・運営等を実施した。</p> <p>「第8回福島こどものみらい映画祭」</p> <p>開催日：平成28年11月6日（日）</p>

	参加者：1,068名 会場：白河文化交流観「コミネス」
--	--------------------------------

事業名	ふくしま女性活躍応援会議キックオフイベント
対象者	県民
内容	<p>「ふくしま女性活躍応援会議」で採択された「ふくしま女性活躍応援宣言」の発表と記念講演「女性活躍推進が社会を変える～少子化・女性活躍・大介護時代におけるイクボス式マネジメント～」を開催した。</p> <p>開催日：平成28年7月26日（火）</p> <p>参加者：231名</p> <p>出演者：</p> <p>内堀 雅雄（福島県知事）</p> <p>ふくしま女性活躍応援会議構成団体</p> <p>福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県中小企業家同友会、福島県経営者協会連合会、福島県中小企業団体中央会、福島県農業協同組合中央会、福島県漁業協同組合連合会、福島県森林組合連合会、福島県医師会、福島県社会福祉協議会、福島県建設産業団体連合会、アカデミア・コンソーシアムふくしま、日本労働組合総連合会福島県連合会、福島県女性団体連絡協議会、福島労働局、福島県市長会、福島県町村会、福島県男女共生センター、福島県</p> <p>記念講演講師</p> <p>安藤 哲也氏（NPO 法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー／代表理事）</p>

事業名	パネル展 ※自主
対象者	県民
内容	<p>○男女共同参画週間パネル展「女性の活躍」</p> <p>男女共同参画週間（6/23～6/29）に併せて、福島県がまとめた「男女共同参画・女性の活躍促進に関する意識調査」の結果の一部をわかりやすくまとめてパネルを作成、展示した。</p> <p>・開催日：平成28年6月23日（木）～6月30日（木）</p>

(2) 研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的

に課題解決を図ることができるようにエンパワーメントする事業を開催した。

事業名	未来館エンパワーメント塾
対象者	働いている（これから働きたい）女性
内 容	<p>女性活躍を推進するため、女性が職場や地域でリーダーになることを前向きに捉え、自身の能力・スキルに自信を持って活躍できるよう女性の人材育成を図るためのセミナーを開催した。</p> <p>(1)「働き女子のごほうびセミナー～」</p> <p>○第1日 開催日：平成28年7月2日(土) 参加者：27名 内 容： 「自己主張（アサーティブ）トレーニング」 講 師：藤平 裕子氏（ウィメンズハウスとちぎ、フェミニストカウンセラー）</p> <p>○第2日 開催日：平成28年7月16日（土） 参加者：21名 協 力：女性就業支援全国展開事業 内 容： 「安心して働くために！これだけは知っておきたい女性のための労働法基礎」 講 師：八巻 裕香氏（特定社会保険労務士）</p> <p>○第3日 開催日：平成28年8月27日(土) 参加者：20名 内 容： 「自己分析～まずは自分を知ることから」 講 師：星野 雅子氏（女性労働協会認定講師、日本サービスマナー協会講師）</p> <p>○第4日 開催日：平成28年9月24日(土) 参加者：20名 内 容： 「私が管理職になった理由（ワケ）」 講 師：千葉 悦子（福島県男女共生センター館長、福島大学副学長）</p> <p>セミナー参加者のネットワーク形成を支援するため、交流会を開催した。</p>

	<p>(2)「働き女子のごほうび交流会」</p> <p>開催日：平成29年2月11日（土）</p> <p>参加者：15名</p>
--	--

事業名	男性のための男女共同参画基礎講座
対象者	県民（男性）
内 容	<p>男性の生きにくさに焦点を当て、男性が自分らしい生き方について考え、気づききっかけとなる講座を開催した。</p> <p>講 演「男だって生きにくい～仕事も家庭もうまくいく生き方～」</p> <p>講 師：坊 隆史氏（臨床心理士、大阪経済大学大学院非常勤講師）</p> <p>開催日：平成28年10月1日（土）</p> <p>受講者：18名</p>

事業名	女性のチャレンジ応援講座
対象者	就職・再就職を希望する女性（育児・介護などのために離職している女性等）
内 容	<p>育児・介護などのために離職している女性等を対象に、これから仕事を始めるための準備として役立つ知識や技術を習得する講座を開催した。</p> <p>講座名：「仕事から離れている女性のための準備セミナー」</p> <p>○第1回「自分と相手を知る」</p> <p>開催日：平成29年3月9日（木）</p> <p>参加者：9名</p> <p>内 容：①講義・ワークショップ 「自分の『強み』を知るワークショップ」</p> <p>②講義「ライフ・マネープランを学ぶ」</p> <p>③講義「企業が求める人材とは」</p> <p>講 師：①竹林 利佳氏（学習サロン「コセイ・スマイル」代表、キャリアコンサルタント）</p> <p>②宍戸 美香氏（ファイナンシャルプランナー）</p> <p>③大東 庄栄氏（株式会社トーネット総務部長）</p> <p>○第2回「就職の心構えと職務経歴書の書き方」</p> <p>開催日：平成29年3月16日（木）</p> <p>参加者：6名</p> <p>内 容：起業までの心構えや準備等の講話、職務経歴書の書き方の指導 など</p> <p>講 師：二本松職業安定所 統括職業指導官 松本 さつき氏</p>

事業名	教師のための次世代育成成人権セミナー
対象者	県内の教職員 教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者
内 容	<p>教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとともに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催した。</p> <p>開催日：平成28年8月17日（水）</p> <p>参加者：10名</p> <p>内 容：</p> <p>○講義1「男女共同参画の基礎知識」 講師：センター職員</p> <p>○講話2「公開授業実施の目的と授業づくりのポイント」 講師：岩淵 優子氏（県教育庁高校教育課指導主事）</p> <p>○講話1・2「公開授業実施から見たこと、伝えたいこと」 講師1：小出 智義氏（郡山市立宮城中学校教諭） 講師2：鈴木 敦氏（県立安積高等学校教諭）</p> <p>○研究協議(特別活動部会、教科部会) 講師 【特活】菅野 浩智氏（県教育庁義務教育課指導主事） 小出 智義氏（郡山市立宮城中学校教諭） 【教科】岩淵 優子氏（県教育庁高校教育課指導主事） 鈴木 敦氏（県立安積高等学校教諭）</p> <p>※福島県教育委員会との共催事業として開催</p>

事業名	未来館健康講座
対象者	県民
内 容	<p>働く女性や男性が心身ともに健康を保持・増進しながら、生涯にわたって仕事と家庭の調和を図り、社会で活躍していけるよう、万病の原因ともいわれる「冷え」を改善する健康講座を実施した。</p> <p>開催日：平成28年10月22日（土）</p> <p>受講者：34名</p> <p>講 師：牧野 直子氏（管理栄養士・料理研究家）</p> <p>内 容：「きょうからできる！食事で解消！！冬の冷え対策」</p>

事業名	未来館ボランティアセミナー
対象者	県民
内 容	<p>(1) ボランティアセミナー</p> <p>ボランティアのスキルアップのため、コミュニケーションについて学ぶ研修を実施した。</p>

	<p>開催日：平成28年11月5日（土）</p> <p>参加者：23名</p> <p>内 容：「外国人とLet's communicate!!」</p> <p>講 師：大屋 直美氏（公益財団法人福島県国際交流協会交流員）</p> <p>(2) ボランティアのつどい</p> <p>ボランティアのより良い活動を考える場として、意見交換を行った。</p> <p>開催日：平成28年6月18日（土）</p> <p>参加者：18名</p>
--	---

事業名	研修講師派遣事業
対象者	県民
内 容	<p>市町村や市民団体等が実施する男女共同参画社会実現に向けた研修、学習会等にセンター職員を派遣し、地域における取組を支援した。</p> <p>職員派遣回数：7回（延べ参加者数234名）</p>

事業名	市町村男女共同参画担当者研修
対象者	県民
内 容	<p>(1) 市町村男女共同参画初任者研修</p> <p>開催日：平成28年6月8日（水）</p> <p>参加者：21名（18市町村）</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基調講義「男女共同参画はなぜ必要か」 講 師：千葉 悦子（男女共生センター館長） ○県の取組等 講 師：越坂 友哉氏（県生活環境部男女共生課主事） ○復興と男女共同参画 発表者：石原 浩樹氏（復興庁男女共同参画班参事官補佐） ○福島県男女共生センター紹介（事業・施設案内） 担 当：センター職員 ○NPO 法人 OYAKODO ふくしま活動紹介 発表者：横田 智史氏（NPO 法人 OYAKODO ふくしま代表理事） ○意見交換（グループトーク） <p>(2) 市町村男女共同参画担当者会議</p> <p>開催日：平成29年1月27日（金）</p> <p>参加者：25名（23市町村）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県からのお知らせ 担 当：越坂 友哉氏（県生活環境部男女共生課主事）

	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村男女共同参画プラン策定状況 ・28年度事業報告（県プラン改定等）、29年度事業計画等 <p>○市町村の取組紹介</p> <p>報告者：佐藤 洋貴氏（伊達市市民生活部市民協働課主任主事）</p> <p>○講演：「人気雑誌副編集長が伝授、女性のニーズはこうつかむ」</p> <p>講師：井崎 彩氏（文藝春秋 『CREA』副編集長、元週刊文春 Woman 編集長）</p> <p>※（１）、（２）とも福島県との共同主催。</p> <p>※（２）は、「男女共生を進めるための住民力向上事業」と併せて開催した。</p>
--	---

事業名	男女共生を進めるための住民力向上事業
対象者	市町村担当者、男女共同参画社会推進のために活動している団体・個人
内容	<p>男女共同参画社会の推進のために地域で活動している、あるいは今後活動しようとしている団体等を育成・支援するため、事業企画等に役立つ講座を実施した。</p> <p>開催日：平成29年1月27日（金）</p> <p>参加者：59名</p> <p>内容：</p> <p>○講演「人気雑誌副編集長が伝授、女性のニーズはこうつかむ」</p> <p>○講師：井崎 彩氏（文藝春秋 『CREA』副編集長、元週刊文春 Woman 編集長）</p> <p>※市町村担当者会議と併せて実施</p>

事業名	未来館パソコン講座（有料） ※自主
対象者	県民
内容	<p>県民が、高度情報化社会で自立した個人として社会に参画していく一助となるよう、スムーズなパソコン操作や基本的な情報収集・情報活用方法を身につける講座を実施した。</p> <p>（１）じっくりパソコン入門講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（12日間） 開講日：平成28年6月2日（木）～28日（火）の火・木・金曜日 受講者：7名 ・第2回（12日間） 開講日：平成28年9月27日（火）～10月28日（金）の火・木・金曜日 ※10月4日（火）、6日（木）は休講 受講者：9名

	<p>(2) ワード基礎講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 (6日間) 開講日：平成28年7月5日(火)～15日(金)の 火・木・金曜日 受講者：8名 ・第2回 (6日間) 開講日：平成28年11月8日(火)～18日(金)の 火・木・金曜日 受講者：10名 <p>(3) エクセル基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 (5日間) 開講日：平成28年8月18日(木)～26日(金)の 火・木・金曜日 受講者：10名 ・第2回 (5日間) 開講日：平成28年12月1日(木)～9日(金)の 火・木・金曜日 受講者：7名
--	--

事業名	コミュニケーション・スキルアップ講座 (有料) ※自主
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会を実現するために、自分らしさを大切にしながら他の人とのより良い関係を築くためのコミュニケーション能力の向上に資する講座を実施した。</p> <p>○コーチング講座</p> <p>講 師：前田 文氏 (アズ・コミュニケーション代表)</p> <p>(1) 基礎編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：平成28年5月28日(土)、29日(日) 受講者：16名 ・第2回 開催日：平成28年8月6日(土)、7日(日) 受講者：14名 <p>(2) ステップアップ編</p> <p>(平成22年度以降のコーチング講座受講者を対象)</p> <p>開催日：平成28年10月29日(土)、30日(日)</p> <p>受講者：6名</p> <p>(3) アサーティブ・トレーニング編</p> <p>(平成22年度以降のコーチング講座受講者を対象)</p>

	開催日：平成28年12月3日（土）、4日（日） 受講者：9名
--	-----------------------------------

事業名	企業研修 ※自主
対象者	県内の企業
内 容	<p>企業における男女共同参画の推進とセンター利用の更なる充実を目指して、県内企業における男女共同参画及び仕事と生活の調和に係る取組状況について調査を行った。</p> <p>「企業における男女共同参画に関する調査」 調査対象：県内の従業員13人以上の事業所より1,500社を抽出 回収数：317件 回収率：21.1%</p>

事業名	復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業 ※新規・自主
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員
内 容	<p>「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」（内閣府男女共同参画局作成）を用いて、地域における復興・防災における男女共同参画の推進を担う人材育成研修を行った。</p> <p>（※県が、内閣府男女共同参画局「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」試行実施団体に選考され実施した。）</p> <p>○第1回 開催日：平成29年2月8日（水） 参加者：19名 講 師：後藤 至功氏（佛教大学福祉教育開発センター講師）</p> <p>○第2回 開催日：平成29年2月15日（水） 会 場：福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター交流室 参加者：13名 講 師：浅野幸子氏（減災と男女共同参画推進センター共同代表）</p> <p>※内容は、第1回・第2回とも共通で以下のとおり。</p> <p>【セッション1】 座学 災害に強い地域社会づくりのため、政策・方針決定過程への女性の参画や男女共同参画視点が不可欠であることを学ぶ。</p> <p>【セッション2】 グループワーク 被災時の課題を記したシチュエーションシートを用いてグループで話し合う。</p> <p>【セッション3】 グループワーク 男女共同参画視点からの防災について、行政における現在の課題や解決策を話し合う。</p>

	<p>【まとめ】</p> <p>研修内容に触れながら男女共同参画視点の重要性を確認、振り返りの意見交換やアンケート記入を行う。</p>
--	---

(3) 相談事業

男女が自立し、生き生きとして生きがいのある人生を送ることができるよう、日常生活から生じる様々な問題や悩みに関する相談や、配偶者からの暴力(ドメスティックバイオレンス)に関する相談及びこれらに関する情報提供を行った。

事業名	一般相談
対象者	県民
内 容	<p>性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る相談を行った。</p> <p>相談内容：広く生活全般に関する相談 配偶者等からの暴力に関する相談 男性相談員による相談</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相 談 員：男女共生相談員（嘱託職員）2名、男性相談員1名</p> <p>相談件数：1, 071件</p>

事業名	専門相談
対象者	県民 ※カウンセリングは女性限定
内 容	<p>法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行った。</p> <p>相談内容：法律相談（月2回、各回2時間）相談件数 20件 健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」（月2回、各回一人1時間程度） 相談件数 13件</p> <p>相談方法：面接（予約制）</p> <p>相 談 員：法律相談 弁護士 健康相談（カウンセリング） 女性臨床心理士</p>

事業名	チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業（再就職）を希望する女性
内 容	<p>内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんを行うほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行った。</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相 談 員：女性就業援助相談員（嘱託職員）</p> <p>※配置個所 男女共生センター及び県内3ヶ所（郡山、会津若松、いわきの県地方振興局内）に相談コーナーを設置</p> <p>相談件数：1, 844件</p>

	内職あっせん者数：314名
--	---------------

(4) 介護実習・普及センター事業

高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行った。

事業名	介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内容	<p>介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るため、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を実施した。</p> <p>(1) 県民介護講座の実施 初級介護講座、認知症介護セミナー、介護ワンポイント講座、オーダーメイド介護講座、介護実技基本講座、認知症キャラバン・メイト養成研修、認知症サポーターキャラバン市町村担当者研修 実施講座数：52回、52日 参加者数：1,458名</p> <p>(2) 地域介護専門職員研修の実施（介護専門職員を対象） 企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具研修、住宅改修研修、排泄ケア研修 等 実施講座数：14回、28日 参加者数：350名</p> <p>(3) 介護セミナー（介護の日記念フォーラム2016） 開催日：平成28年12月10日（土） 参加者数：70名 内容： ①講演「元気なからだいつまでも～介護予防体操～」 講師：岡本 宏二氏（一般社団法人ふくしまをリハビリで元気にする会理事長、一般社団法人日本作業療法士会広報部広報委員長） ②「介護」に関する県民参加企画 運営協力：（一社）福島県介護福祉士会 ア：「心と体をリフレッシュ！～癒やしのフットケア体験～」 イ：「介護よろず相談コーナー」 ウ：「介護ロボットを知ろう～介護の未来～」 エ：「認知症を正しく知ろう（介護ワンポイント講座）」 オ：「福祉のお仕事相談コーナー」</p> <p>(4) 福島県介護研修事業検討委員会の開催</p>

	第1回：平成28年12月15日（木） 第2回：平成29年 3月23日（木）
--	--

事業名	福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内 容	<p>(1) 福祉機器展示室の運営</p> <p>福祉機器展示室において、各種用具を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員2名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行った。</p> <p>来所者数：4,284名 相談件数：909件（相談内容件数1,059件） 相談内容：移動機器（215件）、パーソナルケア関連（150件）</p> <p>(2) 福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催</p> <p>福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行った。</p> <p>第1回：平成28年12月15日（木） 第2回：平成29年 3月23日（木）</p>

4 交流関連事業

(1) 交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとともに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施した。

事業名	未来館ネットワーク推進プログラム
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会の意識啓発を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、未来館ネットワーク推進プログラム（未来館フェスティバル）を開催した。</p> <p>開催日：平成28年9月10日（土）・11日（日） 参加者：延べ2,690名</p> <p>内 容</p> <p>(1) シンボルイベント（11日）</p> <p>内 容：講演「『居場所』のない男、『時間』がない女 ～生きにくい世の中を変えるために～」</p> <p>講 師：水無田 気流氏（詩人・社会学者、國學院大學経済学部教授）</p>

	<p>参加者：200名</p> <p>(2) 未来館ネットワークカフェ（10日） 内 容：県内の団体、自治体職員等による情報交換、交流 参加者：43名</p> <p>(3) 県民参加企画（11日） 内 容：県民が自主的に企画・運営を行った活動紹介、パネルディスカッション、ワークショップ、パネル展示等 出展数：19企画</p> <p>(4) 認知症介護セミナー（11日） ※福島県社会福祉協議会主催</p>
--	---

事業名	男女共生次世代交流会
対象者	<p>(1) 県内で土木・建設を専攻、または土木・建設業に興味のある女子学生</p> <p>(2) 会津大学短期大学生</p>
内 容	<p>若者世代を対象として、男女のライフステージなどのテーマで意見交換会等を実施し、男女共同参画の考え方を学ぶ機会を提供した。</p> <p>(1) 「ふくしま女性活躍応援事業～けんせつ・どぼく女子のいま、未来～」 開催日：平成28年11月26日（土） 内 容：①講演会「“けんせつ・どぼく女子”が輝く未来のために” 講師：麓 幸子氏（日経BPヒット総合研究所長・執行役員、元日経ウーマン編集長） ②意見交換会「ふくしま“けんせつ・どぼく女子”座談会” ・基調講話講師：時弘 みどり氏（一般社団法人土木技術者女性の会 副会長、清水建設） ・グループワーク 時弘氏及び県内の建設・土木業で活躍している女性をアドバイザーとして迎え、働く際の様々な疑問点などについて参加者同士で話し合った。</p> <p>参加者：200名</p> <p>(2) グループワーク「仕事とは自分にとってどのような意味があるのか」 開催日：平成29年2月2日（木） 会 場：会津大学短期大学部 担 当：センター職員 内 容：これまでの「キャリア開発論」のゲストスピーカーの話を振り返りながら、「自分にとって“働く”とはどのようなことか」について学生同士で話し合い、共有し、新たな気づきを</p>

	<p>得た。</p> <p>参加者：65名</p> <p>※会津大学短期大学部「キャリア開発論」の最終回として実施</p>
--	---

事業名	<p>男女共同参画実践支援事業</p> <p>(男女共生を進めるための県民企画応援事業) ※自主</p>
対象者	<p>県内で活動中または活動予定のグループ・団体</p>
内容	<p>県内のNPO等のグループが主体となって自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画・広報・チラシ作成の協力、会場・設備等の提供、運営協力等の支援を行った。</p> <p>採択件数：4件</p> <p>採択企画(団体)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成28年度国際女性教育振興会福島県支部研修会」(一般社団法人国際女性教育振興会福島県支部) ・「もっと知りたい! 女(ワタシ)のカラダ~自分のカラダとココロを大切にするために~ 全国キャラバン2016」(ウィメンズセンター大阪) ・「女性(わたし)の生き方セミナー・フォローアップ講座」(NPO法人ウィメンズスペースふくしま) ・「平成28年度こおりやま思春期セミナー LGBTの家族と友人をつなぐ会 in 東京理事 小林りょう子さん講演会」(こおりやま思春期サポーターの会)